

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画 策定検討会

第5回資料

令和6年5月14日

北区拠点まちづくり担当部拠点まちづくり担当課

第5回検討会のプログラムについて

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. これまでの振り返りと検討会の進め方について | P.2 |
| (1) 第4回検討会でのご意見 | P.2 |
| (2) 本日（第5回検討会）の進め方について | P.3 |
| 2. 中間報告のまとめ方について | P.4 |
| (1) 中間報告の内容 | P.4 |
| 【別紙1】 中間報告のまとめ（イメージ） | |
| 3. 中間報告における総合評価について | P.8 |
| (1) ミッション1～3の全体評価と総合評価 | P.8 |
| 【別紙2】 個別ミッションの評価 | |
| 【別紙3】 総合評価（まとめ） | |
| (2) ミッション2, 3におけるシナリオ5③の評価について | P.12 |
| 4. 今後の検討会開催等について | P.13 |

1. これまでの振り返りと検討会の進め方について

(1) 第4回検討会でのご意見（ミッション2の評価内容について） （ミッション3の評価の視点及び評価の内容について）



昨年12月に赤羽で火災があり、身をもって危機感を感じた。赤羽の開発について未来や将来を夢見て検討を行うことも大事だが、いつ起こるかわからない火災や地震にスピード感をもって対応することも大事なのではないか。



22世紀を踏まえて子供たちにより充実した教育環境を与えられるならば、小学校は移転を前提で話を進めた方がスムーズではないか。ただし、ステークホルダーである在校生・OB・地域の方々の合意形成が前提となるが。



子供たちは、今、広い校庭で遊べる環境にある。再開発により、建物配置や形状を工夫することでその環境を損なうことのないように整えたいと思う。



子供たちに迷惑をかけないという意味でも、ほかの場に小学校を作って移転してもらうのがベストだと思う。本当は移転してほしいが、移転場所が無いということだと、他の選択肢も考えていかなければいけない。



これだけ大規模な小学校などの複合化の事例は現状としては少ないが、今後全国では出てくるだろう。風や日照などの悪い面もあるが、建築的な新しい技術などを取り入れられる可能性も考えていければよいと思う。

1. これまでの振り返りと検討会の進め方について

(2) 本日（第5回検討会）の進め方について

□第4回検討会では、

○ミッション2「小学校の教育環境の確保・充実」について、評価の視点ごとに各シナリオの
評価内容を確認し、

○ミッション3「公共公益施設の効果的効率的な更新策の検討」について、評価の視点及び評価内容
を確認しました。

□第5回検討会では、

○最初に、中間報告のまとめ方（新聞形式）のイメージ
を確認します。

○次に、これまで進めてきたミッション1～3について、
事前送付させていただいた事務局評価案へのご意見等をいただきながら、総合的な評価を行います。（右の表の通り、ミッション単位の全体評価と総合評価を行います）

○最後に、上記の評価を踏まえて、今後の検討の方向性
を確認します。

				「シナリオ」 (どの単位で計画を行うか)						
				シナリオ 1	シナリオ 2	シナリオ 3	シナリオ 4	シナリオ5		
								①	②	③
ミッション1	取り組むべき まちづくりの課題	「評価の視点」	A	評 価 (第3回検討会)						
		B								
		C								
	ミッション1の 全体評価			(第5回検討会)						
ミッション2	小学校の教育環境 の確保・充実	「評価の視点」	ア	評 価 (第4回検討会)						
		イ								
		ウ								
	ミッション2の 全体評価			(第5回検討会)						
ミッション3	公共公益施設の 効果的効率的な 更新策の検討	「評価の視点」	い	評 価 (第4回検討会)						
		ろ								
		は								
	ミッション3の 全体評価			(第5回検討会)						
総合評価				(第5回検討会)						

2. 中間報告のまとめ方について

(1) 中間報告の内容

1. 中間報告の配布版は、北区ニュースのサイズ（A2版・A4サイズ折り）を考えています。

2. 記載内容は、下記のとおりです。

- ① ◆まちづくり基本計画策定の背景
◆赤羽駅東口周辺地区の現状と課題
- ② ◆まちづくり基本計画策定の目的
◆まちづくり基本計画の検討対象範囲
- ③ ◆これまでの具体的な検討内容
 - ・ミッションの構成
 - ・重点区域のまちづくりのシナリオ
- ④ ・検討したミッションの一覧
- ⑤ ◆各ミッションの全体評価および総合評価（総括表）

オモテ面

オモテ面	
中間報告	
①	②
③	④

ウラ面

⑤

中間報告

令和6(2024)年7月

 刊行物登録番号
 0-0-000

 発行 北区 拠点まちづくり担当部 拠点まちづくり担当課
 東京都北区王子本町1-15-22
 電話 03-3908-7186

◆まちづくり基本計画策定の背景

区内屈指の賑わいの拠点である赤羽の駅東口周辺では、現在住民発意による市街地再開発事業の事業化の検討が進んでいます。

区ではこれを契機として、今後見込まれる大規模な土地利用転換を見据え、適切な土地利用を誘導し、秩序ある都市基盤等の整備を図るため、赤羽駅周辺地区の土地利用や施設整備の方向性等を定める「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画」の策定を進めています。

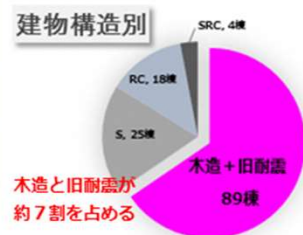


◆赤羽駅東口周辺地区の現状と課題

赤羽駅東口周辺地区は、区内でも有数の商業地の一面でありながら、戦災復興を経ての市街地の成り立ちから、現在は様々な問題を抱えています。

- まちづくり面においては、例えば老朽建築物が数多く密集しており、地震の際に倒壊の懸念がある木造建築物と、現在の耐震基準に変更される前（旧耐震基準時）に建築された建物が全体の2/3を占めており、防災面で深刻な課題を抱えています。

※ S: 鉄骨造、RC: 鉄筋コンクリート造、SRC: 鉄骨鉄筋コンクリート造



- 赤羽小学校は築60年以上経過しており、老朽化に対応した更新が必要であるとともに、再開発事業による影響（日影やビル風等）を考慮した教育環境の保全を図る必要があります。



- 周辺には更新時期を迎える大規模公共施設（赤羽会館や赤羽公園）があり、区民ニーズに合わせて集約化や更新等を図る必要があります。

◆まちづくり基本計画策定の目的

北区都市計画マスタープラン2020

- 東京の北の商業拠点
- ＜施策展開＞
- 赤羽一丁目市街地再開発事業に合わせた適切な高度利用の誘導と周辺環境の整備
 - 商店街における地域交流の場としてのにぎわいづくり等
- 利便性の高い、安心してくらせるにぎわいのあるまち「赤羽東」
- ＜土地利用の方針＞
- 都市中心拠点としてふさわしい利便性の高いにぎわいのある市街地の形成
 - 住宅を重点的に供給することで、居住地としても選ばれる市街地の形成等

赤羽一丁目地区の
3つの再開発事業による
まちづくり

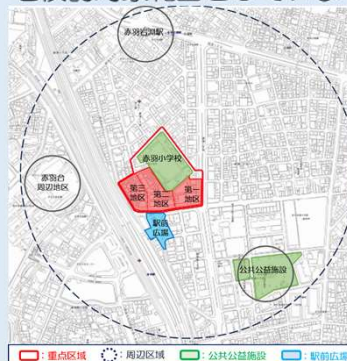
赤羽駅東口周辺地区の
大規模公共施設の
更新

- 赤羽一丁目の市街地再開発事業の事業化の動きを契機に、赤羽駅周辺地区のまちづくりを推進します。
- それに合わせて懸念される赤羽小学校の教育環境の確保や充実を図ります。
- 赤羽駅周辺の老朽化し更新時期を迎える大規模公共施設について、その効果的効率的な更新策を検討します。

この3つの項目を踏まえ、都市計画マスタープラン2020の実現を図るため、**赤羽駅周辺の将来像を明らかにし、具体的な土地利用や施設整備の方向性等をまとめるのが「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画」**です。

◆まちづくり基本計画の検討対象範囲

まちづくり基本計画では、次の「重点区域」と「周辺区域」を含むエリアを検討対象範囲としています。



「重点区域」（赤線枠内）は3つの市街地再開発事業と、これらの事業地区と関連性が高い赤羽小学校を含んだ区域とし、「周辺区域」は重点区域の事業からの影響や波及効果を期待する区域と位置づけ、検討会の議論を踏まえて区域を明らかにいたします。

- ・「公共施設」は「重点区域」の検討にあわせ、施設の効果的効率的な更新策等を検討します。
- ・「駅前広場」は「重点区域」と連携を密にして、その機能の向上や更新等を検討します。

◆これまでの具体的な検討内容

- 区内屈指の商業集積地である赤羽駅周辺地区において、地域が抱えている「現状の問題点」（老朽化した低層建物が密集している、緑やまとまったオープンスペースが不足していることなど）を洗い出し、「まちづくりの課題」を解決するための「ミッション（取り組むべきこと）」を整理しました。

▼ミッションの構成

柱となる3つのミッションのもと、具体的な「個別ミッション」を立てました。

【ミッション1：取り組むべきまちづくりの課題】

再開発事業の事業化の動きを契機に、赤羽駅東口周辺地区のまちづくりを推進する個別ミッションの例：都市基盤の強靱化、円滑な交通基盤の形成など

【ミッション2：小学校教育環境の確保・充実】

まちづくりの推進に合わせて、その影響が懸念される赤羽小学校教育環境の確保・充実を図る個別ミッションの例：安全な教育環境の確保、日照・風環境の確保など

【ミッション3：公共公益施設の効果的効率的な更新策の検討】

駅周辺で経年により更新時期を迎えている大規模公共公益施設の効果的・効果的な更新策を検討する

個別ミッションの例：区有資産の有効活用、施設利用の継続性確保など

- まちづくり基本計画の策定にあたり、「重点区域」のまちづくりの方向性が重要な要素となるため、中間報告までは「重点区域」の検討を先行して行いました。
- 「重点区域」のまちづくりについては、あらゆる視点から望ましい土地利用などの検討を行うため、考えられる様々なパターンを、下表のとおり「まちづくりのシナリオ」として整理しました。

▼重点区域のまちづくりのシナリオ

	まちづくりのシナリオ						
	シナリオ1	シナリオ2	シナリオ3	シナリオ4	シナリオ5①	シナリオ5②	シナリオ5③
民間敷地	従前の建物単位での更新	小規模共同化による更新	各地区単独で更新	第二・第三地区を一体で計画	第二地区・第三地区・小学校を一体で計画		
小学校	小学校は単独建替				小学校は単独敷地で建替	小学校は再開発ビルと合築	小学校は地区外に移転
計画単位							

- 個別ミッションについて評価の視点（右表参照）を設定し、「まちづくりのシナリオ」ごとに評価を行いました。個別ミッションの評価を点数化し、シナリオ別に合計点の得点率を算出し、「総合評価」を行いました。最終的な「総合評価」を裏面に掲載しています。

▼検討したミッションの一覧

ミッション1：取り組むべきまちづくりの課題	ミッション2：教育環境の確保・充実				
(1) 震災・水害に強い市街地の形成 ①重点区域内の都市基盤の強靱化 ・迅速な下排水・耐震化 ・不燃燃焼率の向上、延焼遮断機能の形成 ②周辺区域を含めた災害対応力の向上（地震・水害） ・道路拡幅・新設による災害対応力の向上 ・空地整備による災害対応力の向上 ③帰宅困難者対策 ・民間施設等による一時滞在施設や帰宅困難者支援	(1) 周辺開発による影響の低減 ①安全な教育環境の確保 ・安全な教育環境の確保 ②日照・風環境の確保 ・日照・風環境の確保 ③無理なく歩ける通学距離・安全な通学路 ・適切な通学距離 ・安全な通学路の確保 ④住宅増に対応した学校施設規模の確保 ・住宅増に対応した学校施設規模の確保 ⑤小学校以外の子どもの関連施設の需要増への対応 ・小学校以外の子どもの関連施設の需要増への対応				
(2) 利便性の高い交通環境の整備 ①円滑な交通基盤の形成（高度利用に合わせた円滑な車両交通の確保） ・迅速な下排水・耐震化 ・不燃燃焼率の向上、延焼遮断機能の形成 ②歩行者・自転車利用者が快適に利用できる環境整備 ・歩車分離された歩行者空間（歩道）の確保 ・歩道上の駐輪場の設置・利便性の高い駐輪場の整備 ③バスの乗り換え環境の改善 ・バス乗降場の準時・移転の可否 ・駅前広場の再整備の可否 ④新たなモビリティ等の導入検討 ・新たなモビリティ据置場の整備	(2) まちづくりを契機とした、小学校の機能や魅力の更なる向上 ①改革計画の自由度が高い学校敷地の規模や形状の確保 ・小学校の改革計画の自由度 ②赤羽小学校の特色を生かせる環境の確保（周辺住環境からの評価） ・小学校による周辺住環境への影響 ③複合化等による特色ある学校づくり ・特色ある学校づくり				
(3) まちの魅力を高める公共空間の整備 ①赤羽の玄関口にふさわしい顔づくり ・駅前広場の活用 ・駅前広場の活用自由度の向上・滞留空間の創出 ②歩行者・自転車利用者が快適に利用できる環境整備 ・まとまった規模の緑あふれるオープンスペースの確保 ・ビューマンスケールの空間づくり ③バスの乗り換え環境の改善 ・回遊性を高める取り組み ・回遊性向上に資する多様な植栽整備 ・ウォーカブルなまちづくりの拠点整備 ・ウォーカブルな空間整備	(3) 開かれた学校づくり ①地域活動の拠点としての施設づくり ・地域活動の拠点施設づくり				
(4) 東京の北の玄関口にふさわしい都市機能の導入 ①都市機能の導入（商業） ・にぎわいのある商業機能の整備 ・周辺地区を含めた商業の活性化 ②都市機能の導入（住宅） ・都市型住宅の集中的な供給 ・暮らしを支える機能の確保 ③重点地区周辺の生活環境の確保 ・再開発ビルによる重点地区周辺への日照等の影響	ミッション3：公共施設の効果的効率的な更新策の検討 (1) 区有財産の有効活用 ①区有財産の有効活用 (2) 施設更新中の施設利用の継続性確保 ①施設更新中の施設利用の継続性確保 (3) 魅力あるまちづくりへの波及効果 ①防災面（震災・水害時に強い市街地の形成） ②都市機能面（まちの魅力を高める等）				
(5) 持続可能なまちづくりに向け先導的な取り組み ①北区ゼロカーボンシティの実現に向けたまちづくり ・エネルギー負荷の低減・削減 ・ヒートアイランド対策の推進 ②DX（デジタル・トランスフォーメーション）に対応したまちづくり ・DXの活用度合 ③エリアマネジメントの導入 ・エリアマネジメントの導入 ・新たなコミュニティ形成・活性化	表の構成 <table> <tr> <td>ミッション1</td></tr> <tr> <td>テーマ(1)</td></tr> <tr> <td>個別ミッション①</td></tr> <tr> <td>・評価の視点</td></tr> </table>	ミッション1	テーマ(1)	個別ミッション①	・評価の視点
ミッション1					
テーマ(1)					
個別ミッション①					
・評価の視点					

※ これまでの検討会の記録は、北区のホームページに掲載しています。そちらもご覧ください。

北区ホームページ検索  『赤羽 検討会』



3. 中間報告における総合評価について

(1) ミッション1～3の全体評価と総合評価

- ① 個別ミッション（①，②，…）毎に6段階（◎～××）で評価しました。
- ② ①の評価を点数化し、合計することで、各テーマ（（1），（2），…）の点数を算出しました。
- ③ 各テーマの点数を合計し、満点に対する得点率から、各ミッションの評価を行いました。
- ④ 各ミッションの点数を合計し、満点に対する得点率から、最終的な総合評価を行いました。

①個別ミッションの評価 ②各テーマの評価 (①を点数化し、合計点を算出)		
◎	課題を解決できる (特に効果がある)	3点
○	全ての指標を改善できる	2点
△	改善できる部分がある (改善できない指標が残る)	1点
▲	現状と変わらない	0点
×	現状より悪くなる	-1点
××	許容できない	-2点

③各ミッションの全体評価 (各テーマの合計点の得点率で評価)	
	各ミッション の得点率
A：優れている	6割以上
B：一定の評価ができる	3割以上
C：改善が必要	3割未満

④最終的な総合評価 (ミッション1～3の合計点の得点率で評価)	
	合計点の 得点率
A：優れている	6割以上
B：一定の評価ができる	3割以上
C：改善が必要	3割未満

3. 中間報告における総合評価について

(1) ミッション1～3の全体評価と総合評価

- ① 個別ミッション（①，②，…）毎に6段階（◎～××）で評価しました。
 ② ①の評価を点数化し、合計することで、各テーマ（（1），（2），…）の点数を算出しました。

評価例の抜粋

ミッション1			シナリオ1 従前の建物単位での更新 （地区計画による誘導）	シナリオ3 各地区単独で更新 （街区単位での再開発の実施）	シナリオ5 「第2地区・第3地区・小学校敷地」を一体で計画（街区を統合する再開発の実施）	
取り組むべきまちづくりの課題			【小学校は単独建替え】	【小学校は単独建替え】	①【小学校は単独敷地で建替える】	②【小学校は再開発ビルと合築】
①個別ミッションの評価 ②各テーマの評価 （①を点数化し、合計点を算出）						
◎	課題を解決できる （特に効果がある）	3点				
○	全ての指標を改善できる	2点				
△	改善できる部分がある （改善できない指標が残る）	1点				
▲	現状と変わらない	0点				
×	現状より悪くなる	-1点				
××	許容できない	-2点				
(1) 震災・水害に強い市街地の形成			0	7	8	8
①重点区域内の都市基盤の 強化	・迅速な不燃化・耐震化 ・不燃領域率の向上・延焼遮断 機能の形成	▲ 0	・個別建物単位での更新となるため、不燃化・耐震化には時間がかかる	◎ 3	◎ 3	◎ 3
	②周辺区域含めた災害対応力の向上（地震・水害）	▲ 0	・道路空間の更新は行われないため、緊急車両の進入・新たな歩行者の避難動線の確保は困難 ・防災に資するオープンスペースの確保は困難 ・水害時の新たな避難経路の確保・緊急時の垂直避難施設の確保は困難	○ 2	◎ 3	◎ 3
	③帰宅困難者対策	▲ 0	・現在のコンビニエンスストア等の災害時帰宅支援ステーションによる支援は可能	○ 2	○ 2	○ 2

3. 中間報告における総合評価について

(1) ミッション1～3の全体評価と総合評価

③ 各テーマの点数を合計し、満点に対する得点率から、各ミッションの評価を行いました。

評価例の抜粋

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画 策定検討会 総合評価		シナリオ1 従前の建物単位での更新 (地区計画による誘導)	シナリオ3 各地区単独で更新 (街区単位での再開発の実施)	シナリオ5 「第2地区・第3地区・小学校敷地」を一体で計画(街区を統合する再開発の実施)	
		【小学校は単独建替え】	【小学校は単独建替え】	①【小学校は単独敷地で建替える】	②【小学校は再開発ビルと合築】
③各ミッションの全体評価 (各テーマの合計点の得点率で評価)					
	各ミッション の得点率				
A：優れている	6割以上				
B：一定の評価ができる	3割以上				
C：改善が必要	3割未満				
ミッション1 /48 取り組むべきまちづくりの課題		10.4% 5 C	58.3% 28 B	68.8% 33 A	75.0% 36 A
(1) 震災・水害に強い市街地の形成	0 課題が改善されない	7 面的な不燃化・耐震化及び、道路拡幅や空地整備により災害対応力が向上する	8 面的な不燃化・耐震化及び、道路の新設・拡幅やまとまった空地整備により災害対応力が向上する	8 面的な不燃化・耐震化及び、道路の新設・拡幅やまとまった空地整備により災害対応力が向上する	8 面的な不燃化・耐震化及び、道路の新設・拡幅やまとまった空地整備により災害対応力が向上する
(2) 利便性の高い交通環境の整備	0 課題が改善されない	6 道路拡幅や空地整備により、歩車分離された歩行者空間の確保など交通環境の改善が可能(屈曲部の多い道路ネットワークは変わらない)	8 道路の新設・拡幅やまとまった空地整備により、歩車分離された歩行者空間の確保など交通環境の改善が可能	8 道路の新設・拡幅やまとまった空地整備により、歩車分離された歩行者空間の確保など交通環境の改善が可能	9 道路の新設・拡幅やまとまった空地整備により、歩車分離された歩行者空間の確保や、バス乗降場の整備など交通環境の改善が可能
(3) まちの魅力を高める公共的空間の整備	2 重点区域は現状と大きな変化はない(駅前広場は、限定的だが滞留空間の創出等は可能)	5 街区内でヒューマンスケールを意識したオープンスペースの確保や、ウォーカブルなまちづくりに資する滞留空間の整備が可能	7 街区内でヒューマンスケールを意識したオープンスペースの確保や、ウォーカブルなまちづくりに資する滞留空間の整備が可能	7 街区内でまとまった規模のヒューマンスケールを意識したオープンスペースの確保や、ウォーカブルなまちづくりに資する滞留空間の整備が可能	7 街区内でまとまった規模のヒューマンスケールを意識したオープンスペースの確保や、ウォーカブルなまちづくりに資する滞留空間の整備が可能
(4) 東京の北の玄関口にふさわしい都市機能の導入	0 ・商業機能・居住機能は現状と変わらない ・再開発ビルによる日影の影響は現状と変わらない	3 ・重点的な商業機能・居住機能の整備が可能 ・再開発ビルによる日影・風の影響を受けることが想定される	3 ・重点的な商業機能・居住機能の整備が可能 ・再開発ビルによる日影・風の影響を受けることが想定される	3 ・重点的な商業機能・居住機能の整備が可能 ・再開発ビルによる日影・風の影響を受けることが想定される	5 ・より重点的な商業機能・居住機能の整備が可能 ・再開発ビルによる日影・風の影響を受けることが想定される
(5) 持続可能なまちづくりに向けた先進的な取り組み	3 ・各戸の取組に委ねられる ・既存の地縁団体を中心とした活動が継続される	7 街区整備にあわせて、エネルギー負荷の低減やDXの活用、エリアマネジメンツの導入が可能	7 街区整備にあわせて、エネルギー負荷の低減やDXの活用、エリアマネジメンツの導入が可能	7 街区整備にあわせて、エネルギー負荷の低減やDXの活用、エリアマネジメンツの導入が可能	7 街区整備にあわせて、エネルギー負荷の低減やDXの活用、エリアマネジメンツの導入が可能

3. 中間報告における総合評価について

(1) ミッション1～3の全体評価と総合評価

④ 各ミッションの点数を合計し、満点に対する得点率から、最終的な総合評価を行いました。

評価例の抜粋

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画 策定検討会 総合評価		シナリオ1 従前の建物単位での更新 (地区計画による誘導)	シナリオ3 各地区単独で更新 (街区単位での再開発の実施)	シナリオ5 「第2地区・第3地区・小学校敷地」を一体で計画(街区を統合する再開発の実施)	
		【小学校は単独建替え】	【小学校は単独建替え】	①【小学校は単独敷地で建替える】	②【小学校は再開発ビルと合築】
④総合評価 (ミッション1～3の合計点の得点率で評価)					
	合計点の 得点率				
A：優れている	6割以上				
B：一定の評価ができる	3割以上				
C：改善が必要	3割未満				
ミッション1 取り組むべきまちづくりの課題	／48	10.4% 5 C	58.3% 28 B	68.8% 33 A	75.0% 36 A
ミッション2 教育環境の確保・充実	／30	30.0% 9 B	30.0% 9 B※ (※大きな懸念がある課題が含まれる)	40.0% 12 B	46.7% 14 B
ミッション3 公共公益施設の効果的効率的な更新策の検討	／12	50.0% 6 B	50.0% 6 B	75.0% 9 A	75.0% 9 A
総合評価		C 20点/90点 22%	B※ 43点/90点 48%	A 54点/90点 60%	A 59点/90点 66%

3. 中間報告における総合評価について

(2) ミッション2, 3におけるシナリオ5③の評価について

第4回検討会では、シナリオ5③について、他のシナリオの評価と比較衡量する必要があるため、「学校の移転先が重点区域外で、かつ学区域内もしくは学区域に隣接する付近に確保できた場合」を想定し、評価を行いました。

第4回検討会では、委員から「シナリオ5③については、学区域外に移転することとなる場合は、他の学区域を巻き込んだ議論が必要になる」との発言もあり、改めて、庁内の関係部課で再検討を行ったところ、現在の赤羽小学校の通学区域内には、赤羽小学校の改築に適した移転先となる適地が見つからず、移転先が見つからない状況のまま、ミッション2及び3の評価を行うことは困難であり、現時点では評価対象外とすることが妥当との判断に至ったため、中間報告にあたり、ミッション2及び3は「評価対象外」としました。

4. 今後の検討会開催等について

(1) 中間報告説明会（オープンハウス形式）の開催【調整中】

■日時 令和6年（2024年）7月26日（金）～7月27日（土）
（26日は夜間、27日は昼間の開催を予定）

■会場 赤羽小学校体育館

※検討会での議論をふまえ、
今後のスケジュールは改めてご案内いたします。
なお、中間報告説明会について、記載の日程での
開催はありません。

(2) 第6回検討会【調整中】

■日時 令和6年（2024年）9月下旬頃

■会場 北とぴあ 1601会議室

■内容

- ・中間報告説明会で寄せられたご意見等について
- ・重点区域が周辺に及ぼす影響や波及効果について
- ・周辺区域でのまちづくりの可能性について など

※その後、年度内に2回程度の検討会を予定（時期については今後調整）